

国際膜会議

13th International Congress on
Membranes and Membrane Processes
(ICOM2023)

各種協賛 募集趣意書

主催

日本膜学会

共催

世界膜学会(WA-MS)

アゼアニアン膜学会(AMS)

ヨーロッパ膜学会(EMS)

北米膜学会(NAMS)

1. 会議の名称

第13回国際膜会議(ICOM2023)

THE 13th INTERNATIONAL CONGRESS ON MEMBRANES AND MEMBRANE PROCESSES

2. 主催機関等の名称

(1)主催 一般社団法人日本膜学会

(2)共催 世界膜学会

World Association of Membrane Societies

アゼアニアン膜学会

Aseanian Membarne Society

ヨーロッパ膜科学技術学会

European Society of Membrane Science and technology

北米膜学会

North American Membrane Society

3. ICOM2023 Chairs

Cochair 山口猛央（東京工業大学 教授）

Cochair 松山秀人（神戸大学 教授）

Cochair 都留稔了（広島大学 教授）

Honorary chair 中尾真一（東京大学 名誉教授）

4. 日本膜学会とICOM

膜は、水処理、各種分離、透析、電池用膜など幅広い分野で応用され、今では無くてはならない技術となっています。さらに今後顕著になる世界的な水不足、地球温暖化問題、後期高齢化社会における医療対策においても、膜技術はますます重要な技術となります。膜技術の発展には、膜学に関する知識・技術を広める膜学会の設立および国際会議の開催が欠かせません。日本膜学会は1978年に世界初の膜学会として設立され、1984年にイタリアで日-欧膜会議が開催された後、日本膜学会が中心となり世界で最初の国際膜会議（ICOM）を1987年に東京で開催しました。この国際会議が大きな成功を収め、以降、北米地域、ヨーロッパ地域およびアジア・オセアニア（アゼアニアン膜学会が設立されるまでは日本）地域において、3年に一度開催される世界中の膜研究者および技術者が集まり発表・議論する膜に関する最大の国際会議となりました。2023年はアジア・オセアニア地域での開催が決まっていたが、立候補した日本とオーストラリアの決選投票により、日本が辛くも勝ち、幕張での開催に至りました。アジア・オセアニア地域の開催は9年に一度であり、既にアゼアニアン膜学会には8か国・地域の学会が参加しており、次の日本開催は50年以上後となることが予想されます。今回の日本開催の機会を最大限に活用したいと思います。

5. ICOM2023 日本開催の目的と意義

日本の膜メーカーは世界の膜市場をリードし、世界市場の半分を占めています。一方で、世界、特にアジア地域での膜産業が急速に発展している状況があり、日本における膜科学・技術力の高さを世界に再発信する必要があります。また、膜技術は世界に広がり、インドやアフリカも含め、世界中で膜学会が設立され、特にアジア地域における膜利用の拡大および膜研究者数の増加は目を見張るものがあり、膜産業はさらに大きく発展することが予想されます。

今回の本国際膜会議を日本で開催できる機会を最大限有効に利用し、世界の膜研究者・技術者と交流し、情報交換するだけでなく、日本の膜科学、膜技術のレベルの高さを示す重要な機会となります。そして、本国際会議は、我が国が、今後も、世界の膜に関する最先端研究および技術をリードする国・地域の一つとしてプレゼ

ンスを高めるための大切な国際会議になるはずです。

6. 開催計画の概要

ICOM2011（アムステルダム）は 1051 名、ICOM2014（蘇州）は 1281 名、ICOM2017（サンフランシスコ）では 1022 名の参加者がありましたが、新型コロナの影響によりオンライン開催となった ICOM2020（ロンドン）では 864 名となりました。2023 年にはリアルな国際会議が開催できると期待していますが、同時に、ハイブリッド開催およびオンライン開催の準備も進めています。参加者数は新型コロナの影響が無ければ 1000 名以上の参加が期待できますが、新型コロナの影響で来日できない人もいと予想し、700 名で計算しています。いずれの開催方法においても、日本での国際膜会議（ICOM）が参加者の心に残るよう、最善を尽くす予定です。そのためには、皆様からのご寄付をお願いしたく、お願い申し上げる次第です。

7. 協賛学会・団体(予定)

化学工学会、化学工学会分離プロセス部会膜工学分科会、高分子学会、触媒学会、食品膜技術懇談会、繊維学会、日本イオン交換学会、日本海水学会、日本化学会、日本吸着学会、日本生物物理学会、日本ゼオライト学会、日本 DDS 学会、日本分析化学会、日本水環境学会、日本薬剤学会、日本薬物動態学会、膜分離技術振興協会

(50 音順)

8. 開催時期

2023年7月9日（日）— 7月14日（金）（本会議5日間）

9. 会場

幕張メッセ
〒261-8550 千葉市美浜区中瀬2-1
電話 043-296-0001
ファックス 043-296-0529

10. 会議日程

1) 会議日程

7月9日（日）	午後	登録受付 ウェルカムレセプション
7月10日（月）	午前	開会式&プレナリー1 パラレルセッション1
	午後	パラレルセッション2 ポスター発表・展示
7月11日（火）	午前	パラレルセッション3
	午後	パラレルセッション4 ポスター発表・展示
7月12日（水）	午前	パラレルセッション5
	午後	特別セッション
7月13日（木）	午前	パラレルセッション6
	午後	パラレルセッション7
	夜	バンケット
7月14日（金）	午前	パラレルセッション8
	午後	プレナリー2 & 閉会式

2) 参加予定者

国内	400名
海外	300名
合計	700名

3) 参加予定国 30ヶ国・地域

4) 会議使用言語 英語

12. 実行委員会の構成

実行委員会（事務局）	委員長	山口猛央（東京工業大学 教授）
プログラム委員会	委員長	吉岡朋久（神戸大学 教授）
運営委員会	委員長	野村幹弘（芝浦工業大学 教授）
企画委員会	委員長	川上浩良（東京都立大学 教授）
財務委員会	委員長	吉宗美紀（産業技術総合研究所 主任研究員）
協賛委員会	委員長	馬越 大（大阪大学 教授）
産業部門委員会	委員長	川勝孝博（栗田工業）
	副委員長	谷口雅英（東レ）

13. 主催責任者

社団法人日本膜学会

会長 岡村恵美子（姫路獨協大学 教授）

第13回国際膜会議（ICOM2023）実行委員会

実行委員長 山口猛央（東京工業大学 教授）

事務局 〒160-0017 東京都新宿区左門町16-1 四谷TNビル

株式会社日本旅行 公務法人営業部

電話 03-5369-4534

ファックス 03-3225-1004

E-mail: icom_2023@nta.co.jp

14. 収支予算（案） ※完全リアル開催にて算出

収支区分	金額
(収入)	
1. 自己負担金（参加登録費,懇親会費等）	46,890,000
一般参加費（事前）84,000円 x 315名	
一般参加費（当日）96,000円 x 35名	
学生参加費（事前）42,000円 x 315名	
学生参加費（当日）48,000円 x 35名	
懇親会費 10,800円 x 200名	
2. 協賛金等	6,000,000
3. 補助金／助成金等	200,000
収入合計	53,090,000
(支出)	
1. 会場費	11,950,000
2. 事前準備費	11,500,000
3. 当日運営費	25,500,000
4. 事後処理費	400,000
5. 委託費	3,740,000
支出合計	53,090,000

協賛募集要項

(1) 協賛プランのご案内

企業様に、下記の協賛プランをご用意しております。

- (1) プラチナプラン 【2,000,000円】
 - ① 企業宣伝会場の利用
 - ② 広告 プログラム集裏表紙広告掲載
ホームページ、会場案内板への企業ロゴ掲載
セッション間の企業PR動画上映
 - ③ 展示 3小間まで
 - ④ 参加費・懇親会費 8名まで無料
- (2) ゴールドプラン 【1,000,000円】
 - ① 企業宣伝会場の利用
 - ② 広告 プログラム集裏表紙内側広告掲載
ホームページへの企業ロゴ掲載
 - ③ 展示 2小間まで
 - ④ 参加費・懇親会費 5名まで無料
- (3) シルバープラン 【500,000円】
 - ① 広告 プログラム集、ホームページへの企業ロゴ掲載
 - ② 展示 1小間
 - ③ 参加費・懇親会費 3名まで無料
- (4) ブロンズプラン 【200,000円】
 - ① 広告 プログラム集、ホームページへの企業ロゴ掲載
 - ② 展示 1小間

(2) 企業宣伝会場について

設定プラン	開催日時	会場 (予定)	座席数 (最大)
プラチナプラン	2023年7月12日(水) 12:00~14:00	201	約300席
ゴールドプラン	2023年7月12日(水) 14:00~16:00	103	約170席

- ・各企業様あたり30~50分の宣伝時間となります。プログラム編成は共催企業様にお任せいたします。2023年3月31日(金)迄に内容を事務局迄ご一報下さい。
- ・費用に含まれるもの：講演会場費、控室利用料、映像・音響・照明機材費、PC発表用機材、参加者の飲食費（プラチナプランの会場ではお弁当を準備）
- ・費用に含まれないもの：講演にかかる費用（座長及び演者の交通費、謝金、宿泊費、飲食費含む）、録画・録音等の費用

(3) 広告について

- ① プログラム集
 - ・発行予定部数：約600部予定
 - ・体裁：A4版、表紙・裏表紙以外はモノクロ
 - ・広告原稿締め切りは2023年4月上旬を予定しています。
- ② 企業ロゴ掲載
 - ・掲載箇所：ICOM2023ホームページ内“S p o n s o r s”ページ

および会場内案内板（プラチナプランのみ）

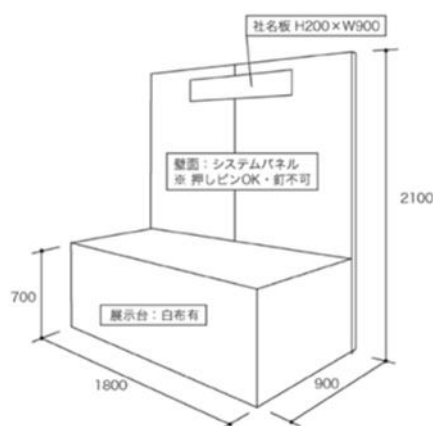
- ・確定通知送付後、事務局よりロゴデータ入稿のご依頼をさせていただきます。
- ・掲載するロゴの大きさは、お申込みプランによって異なります。

③企業PR動画（プラチナプランのみ）

- ・セッション間の幕間に、企業PR動画を各社1分でループ再生します。
- ・1分以内の動画をご提出ください。
- ・動画提出締め切りは2023年6月上旬を予定しています。

(4) 展示について

- ・予定基礎小間サイズ：間口1,800mm×奥行900mm×高さ2,100mm（1小間当たり）
 - ・基本備品：バックパネル、展示台、白布、社名板
- ※大きなサイズの展示物は必ず自社小間内にて収めてください。
※展示場所のご希望はお受けできません。実行委員会に一任いただきます。



(5) ランチョンセミナー開催について

- ・プラチナプラン、ゴールドプランお申込みの企業様は、ランチョンセミナーのご希望があればお申込みいただけます。日程は2023年7月12日（水）を除く各日のお昼休みの時間となります。お申込みの可否は、お申込み時にお知らせ下さい。
- ・採否及び日程の最終決定につきましては実行委員会にご一任とさせていただきます。最終決定は2023年3月上旬頃に連絡申し上げます。
- ・座長及び演者へのご依頼については、事務局からの連絡後、貴社よりご交渉下さい。正式決定後、2023年3月31日（金）迄に事務局迄ご一報下さい。
- ・費用に含まれるもの：講演会場費、控室利用料、映像・音響・照明機材費、PC発表用機材
- ・費用に含まれないもの：座長及び演者にかかる費用（交通費、謝金、宿泊費、飲食費）、運営要員の費用（アナウンス、進行、弁当配布等）、看板類、録画・録音等の費用、チラシ作成等の広報費、参加者の飲食費

(6) 申込期間

2022年10月1日（土）～2023年2月10日（木）

(7) 申込方法とスケジュール

専用サイト（https://va.apollon.nta.co.jp/icom2023_sponsorship/）より申込みください。お申込み確認後、事務局より別途請求書を発行させていただきます。請求書到着後、2023年5月10日（水）迄にお支払いをお願いいたします。

(8) 募集責任者

第13回国際膜会議 (ICOM2023)

Co-chair 山口猛央 (東京工業大学)

Co-chair 松山秀人 (神戸大学)

Co-chair 都留稔了 (広島大学)

協賛委員会 委員長 馬越大 (大阪大学)

産業部門委員会 委員長 川勝孝博 (栗田工業)

副委員長 谷口雅英 (東レ)

事務局 〒160-0017 東京都新宿区左門町16-1 四谷TNビル

株式会社日本旅行 公務法人営業部

電話 03-5369-4534

ファックス 03-3225-1004

E-mail: icom_2023@nta.co.jp